

2024年
1月1日
第478号



JR東海労



<http://jrtoukairou.sakura.ne.jp/>

〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-6-5

TEL 03-3201-0350 FAX 3201-0351

Eメール jrtoukairou@yahoo.co.jp

JR東海労働組合

発行人 淵上 利和

編集人 高山 浩



【写真】 東京運輸所分会 佐藤 正美

組織展望の出発点を切り拓いた1年！ 更なる組織拡大に向けて奮闘しよう！

中央執行委員長 淵上 利和



新年明けましておめでとうございます。

私たちは昨年、JR東海労の組織展望を切り拓く新たな出発点をつくり出しました。昨年8月、関連会社に出向している組合員が中心となり、出向先会社の社員と共にJRサービック労働組合（JS労）の結成を勝ち取りました。会社が2021年4月、JR東海労の組織破壊を目的に再開した54歳原則出向によって、多くの組合員は関連会社や警備会社に出向させられました。しかし、私たちは挫けることなく置かれた場で奮闘し、出向先会社で働く社員との人間関係をつくり出し、新労組の結成を勝ち取りました。私たちは新年を迎えるにあたって、新労組結成を結節点にJRで4人に続く組織拡大を必ず実現していくことを決意したいと思います。

また、私たちは2017年11月、年休が付与されず失効する事態が労働基準法第39条に違反するとして、年休裁判を東京と大阪で同時に訴え闘ってきました。そして昨年3月、東京訴訟で会社が労働契約上の義務を怠ったとして、合計54万円の損害賠償金を支払うことを命じる勝利判決を勝ち取りました。しかし大阪訴訟では、私たちの訴えを一切認めない不当判決でした。東京、大阪共に控訴審での争いとなり今年判決となります。

東京訴訟での勝利判決は、JR東海に留まらず労働者の年休権の前進を勝ち取る大きな成果です。控訴審勝利に留まらず、働き易い職場をつくるために闘っていきましょう。

ロシアとウクライナの戦争、そしてイスラエルのガザ地区への武力侵攻によって多くの労働者・市民が傷付き亡くなっています。私たちは一日でも早くこの戦争を終息させなければなりません。また日本においても戦争ができる国づくりに反対し、9条を守り戦争のない平和な社会を守ることは私たち労働組合の課題です。私たちは、労働者の権利と生活を守るために、労働者の連帯を求め、JR総連の仲間と共に闘っていきます。本年もよろしくお願ひします。

組合員、ご家族の皆さん、OB諸先輩の皆さん、新年明けましておめでとうございます。

今年も私たちが取り巻く情勢は厳しさを増しています。約2年にわたる「ウクライナ・ロシア戦争」や、イスラエルとパレスチナのイスラム組織ハマスとの武力衝突の収束は困難を極め、長期化の様相を呈しています。

JR総連は、「あらゆるテロにも戦争にも反対」という意志を貫き、いかなる戦争政策、軍事大国化の道にも反対していきます。

いままさに日本においても「中国・台湾の武力



「抵抗とヒューマニズム」を 基底に闘おう！

JR総連執行委員長 山口 浩治

衝突の危機」や「北朝鮮の核・ミサイル開発の脅威」を理由として軍事大国化に向けた政策が着々と進行しています。更に憲法改正に向けては「緊急事態条項の創設」や、野党からも「首相の解散権の制限」などの改憲議論が始められました。年明けの通常国会にも注目していかなければなりません。政治献金の問題の陰で日本が極めて危険な道を進もうとしている今こそ、政治に関心を持ち、9条連との連帯などをつくりながら労働組合の力を発揮しなければなりません。

2024 JR総連春闘は、「統一要求・統一闘争」を貫き、組合員の生活実態を踏まえ要求づくりを行い、組織強化・拡大のために職場の運動づくりを強化することを課題にしていきます。

安全問題、会社施策の取り組み、地方ローカル線の維持・活性化と課題は山積しています。JR総連は、今年も加盟各単組の仲間と固く連帯して闘います。「抵抗とヒューマニズム」を基底に、全ては組合員のために闘い抜きましょう！

昨年 JR 東海労第40回臨時大会で、JS労と共に労連づくりに向けた方針が確立しました。新たな仲間と共にJR総連運動を実践していきます。

2024 JR総連春闘は、「統一要求・統一闘争」を貫き、組合員の生活実態を踏まえ要求づくりを行い、組織強化・拡大のために職場の運動づくりを強化することを課題にしていきます。

安全問題、会社施策の取り組み、地方ローカル線の維持・活性化と課題は山積しています。JR総連は、今年も加盟各単組の仲間と固く連帯して闘います。「抵抗とヒューマニズム」を基底に、全ては組合員のために闘い抜きましょう！



「職場闘争と第三者を結合させた闘いの成果と課題」を確認する集会 3月8日



JR総連春闘勝利!!総決起集会 2月22日



営業分科会業務改革学習会 1月15日



袴田巖さん支援行動 3月より継続中



年休裁判東京判決報告集会 3月27日



刀谷さん加入歓迎集会 3月16日



年休裁判大阪判決報告集会 7月6日



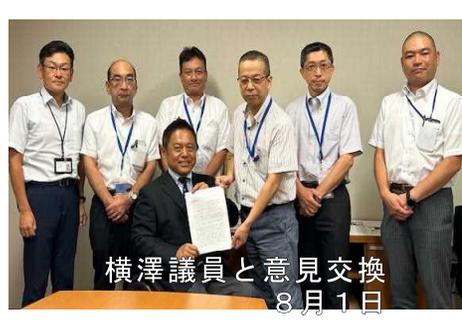
楠さんを囲む会(楠さん慰労) 5月21日



2023憲法大集会 5月3日



大弾圧から30年!JR東海労の未来を切り開く9・10集会 9月10日



横澤議員と意見交換 8月1日



ストップ・リニア!訴訟不当判決 7月18日



第26回登山大会 11月12日



袴田巖さんの早期完全無罪判決を勝ち取る10・29集会 10月29日



新空白裁判提訴 10月26日

写真で振り返る2023年の闘い
今年も全組合員で闘おう!

平和・人権・民主主義を守ろう！

4地本委員長 新年の決意表明

多くの闘いに挑む！

新幹線地本 伊藤 一也



明けましておめでとうございます。昨一年間の新幹線地本の取り組みに対して多くの激励、ご協力に改めて感謝を申し上げます。

ロシア軍によるウクライナ侵攻からすでに2年近くが経ち、更にイスラエルではガザ地区を実効支配するハマスとの戦闘が激化しています。多くの子供を含めた市民が犠牲になっています。いかなる理由があっても戦争は許されない行為です。日本も、戦争ができる国にする策動が、自民党・岸田政権を中心に推し進められています。

制や関連会社への経費削減に繋がります。リニア中央新幹線建設は、即時に中止するべきです。まさに労働組合の真価が今問われています。私たちは、JS労結成に学び、関連会社を含む全労働者の声を代表して果敢に闘いを展開します。今年も多くの闘いに挑まなければなりません。全ての闘いを組織強化・拡大に結実するために奮闘していきます。共にがんばりましょう。

真の労働運動を展開する！

静岡地本 半場 弘恭



新年明けましておめでとうございます。昨一年間の静岡地本の取り組みに対する激励やご支援に對して、改めて御礼を申し上げます。

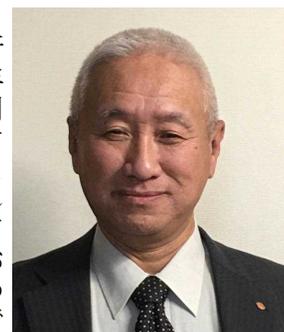
が本通となり、一定の成果を確認しました。自然破壊や会社経営を逼迫するリニア建設については、建設に反対する市民団体と連帯し、地本情報で建設反対を訴えながら闘いを展開してきました。

10月29日に開催した「袴田巖さんの早期完全無罪を勝ち取る10・29集会」は、準備地本として組合員とOBが協力して準備を行ない、成功させることができました。また、市民団体の協力もあり、今後の運動を進めていく上でも意義のあるものとなりました。

今年も引き続き、労働条件改善に向けた職場で

安全無視の効率化反対！

名古屋地本 荻野 隆一



新年明けましておめでとうございます。昨一年間の激励やご支援に對して改めて感謝申し上げます。

ロシアによるウクライナ侵攻による戦争は、未だに終わりを見出すことができません。更には、中東においてイスラエルとハマスの衝突により多くの市民が犠牲になっています。太古の昔から人間は戦争を繰り返しています。戦争の要因は領土問題、宗教問題、民族や文化の違いなど様々ですが、文明が発展してもこれらの問題を乗り越えることができていません。

目を見える闘いと、平和・人権・民主主義を守る闘いなど、労働組合として真の労働運動を展開していきます。そして全ての闘いを組織拡大へ繋げて参ります。共にがんばりましょう。

JS労の仲間と連帯する！

新幹線関西地本 笹田 伸治



組合員・OB・ご家族の皆様、新年明けましておめでとうございます。

た。昨年の大きな成果は何と言っても、関西新幹線サービックで働く労働者と出向先で奮闘している組合員が力を合わせて新しい労働組合（JRサービック労働組合・略称JS労）を結成したことです。

今、JR職場のみならず関連会社においては、業務改革という号令の下、コスト削減が押し進められ、私たち労働者を取り巻く情勢は日に日に厳しくなっています。

職場においては、年休裁判、診断書強要行政訴訟の闘いを通じて、会社の年休及び勤務の扱いがデータラメであることが満天下に晒されました。2月28日には年休裁判控訴審判決が出されます。また会社は、職場からの労働運動をさせないために、組合員を出向により職場から放逐してきまし

た。私たちは、会社の狙いを暴露しながら、淵上・本橋裁判を闘い抜き、今後更に会社を追い込む闘いを継続していきます。

会社は、リニア建設費を捻出するために必死です。それが「業務改革」です。相次ぐ効率化、賃金抑制は加速し、賃金抑

昨年、規程の訂正時間を超勤時間にする闘いと、リニア中央新幹線建設反対の2つの闘いを中心に、現職組合員7名、継続組合員2名で闘ってきました。規程については、昨年7月から一部の規程を除きタブレット内

昨年一年、名古屋地本は業務改革反対の運動を中心に闘いを進めてきました。職場では業務改革を急ピッチに進めるため

環境制度（駅異動）の廃止など、様々な分野で仕事が変わっています。私たちは、これらの変化に對してしっかりと主張をしていくことが求められます。効率化の陰に隠れている不安全や無理な仕事に對して反対していきます。

JS労など職場を問わず全ての労働者と連帯し、組織強化・拡大のために進んでいくことを表明します。共にがんばりましょう。

J S 労の仲間と共に未来を切り拓こう！

第40回臨時大会開催



労働者の連帯を求め前進しよう！

淵上中央執行委員長挨拶

J R 東海労は12月14日、名古屋市「ワークライフプラザ れある」で第40回臨時大会を開催しました。畑野副委員長の開会挨拶で始まり、議長に名古屋地本の加藤代議員を選出しました。来賓として、J R 総連より、山口委員長、熊谷書記長、伊藤広報部長が出席しました。山口委員長は「J S 労をより良い労働組合にしていくために共にならぼう」と挨拶しました。質疑では、全代議員からJ S 労の仲間と共に組織展望を切り拓くための闘いや決意が語られました。今大会でJ R 東海労働組合連合会（J R 東海労連）を結成するための規約改正を全体で確認しました。本橋書記長の総括答弁の後、J R サービック労働組合（J S 労）柳楽委員長より連帯の挨拶を受け、斉藤副委員長の閉会挨拶、淵上委員長の団結ガンバローで大会は成功裡に終了しました。

今臨時大会の目的は、新幹線関西地本の組合員の奮闘によって結成されたJ R サービック労働組合（J S 労）と共に、J R 東海労の組織拡大と強化に向けて闘うこと、J R 総連の運動の前進と拡大のためのJ R 東海労働組合連合会（J R 東海労連）結成を確認することです。J S 労の結成に向けて奮闘された組合員の方にまず敬意を表します。



J R 東海労は1991年8月、佐藤委員長を先頭に多くの組合員が結集し、会社による労働組合の御用組合化を許さず、「東海の地に労働運動の灯を消さない」を一人ひとりが決意して結成しました。それ以降、京力さん、石川さん、加藤さんへの解雇攻撃に示されるように、会社、国家権力

の意思による組織破壊攻撃に屈することなく、歯を食いしばりスクラムを固め、今日まで闘い続けてきました。私たちは、常に弱い側に立ち、権力と立ち向かってきた姿勢こそがJ R 東海労の立脚点であり、あらゆる弾圧に屈することなく結成以降32年間闘い続け、今日もJ R 東海労として堂々と存在し得ている核心がそこにあります。これからもこの結成の理念を忘れることなく、J R 東海

全代議員がJ S 労と共に闘う決意を発言！

労らしく闘い続けていくために、組織を拡大し、強化していかねばなりません。ロシアとウクライナの戦争、そしてイスラエルのガザ地区への武力侵攻によって多くの労働者・

市民が犠牲になつていきます。戦争ができる国づくりに反対し、戦争のない平和な社会を守ることは私たち労働組合の課題であり任務です。労働者の権利と生活を守るために、労働者の連



◆この間地本は、一貫してJ S 労と連帯し共に闘って行く決意で議論し、激励なども行ってきました。地本には現在2名の継続組合員がいますが、業務委員会にも出席し会社と闘う場に参加しています。また、立場を超えて、J R 東海労働組合として市民の活動に参加していくことを切望されています。新たな道を切り拓いたJ S 労と固く連帯し、J R 東海労、J R 東海労連、J R 総連に結集する全ての仲間と共に奮闘します。

◆J S 労の結成というのは、出向先の関連会社で、そこで一緒に働く労働者が苦しんでいる労働者と共に、新しい組合を広げる意味でも、J R 総連の全国の仲間と共に目指している闘いが広がるということに他なりません。J R 東海労連として共にJ R 総連の旗の下で闘うということは、一刻も早く労連を結成すべきです。各地方で第二、第三のJ S 労の結成のための闘いに邁進しよう。

◆J S 労の結成というものは、出向先の関連会社で、そこで一緒に働く労働者が苦しんでいる労働者と共に、新しい組合を広げる意味でも、J R 総連の全国の仲間と共に目指している闘いが広がるということに他なりません。J R 東海労連として共にJ R 総連の旗の下で闘うということは、一刻も早く労連を結成すべきです。各地方で第二、第三のJ S 労の結成のための闘いに邁進しよう。

◆分会執行委員会、J R 総連見解、定期大会の委員長挨拶、運動の基調、闘いの具体策、J R 総連大会の方針を読み合わせた結果、J S 労結成は方針に則った闘いであることを確認しました。J S 労結成は、東海の地において大きな一歩を切り拓いた意義のある闘いです。隣で働く労働者が劣悪な労働条件で、苦しんでいるのを見ているときに、J R 東海労働組合が知らん顔はできません。これまでの闘いで培われた労働者魂は、共に闘いをつくり出していくことではないでしょうか。

◆J S 労結成は、まさにJ R 東海労の目指す道

【5面に続く】

と同じであり、「東海の地から労働運動の灯を消さない」ためでもありません。この時代において新組合の創造は、日本労働運動の新たな端緒を切り拓いた闘いだと言っても過言ではありません。「ようつくつてくれた。あり

がとう」という想いでし
た。勇気を与えられまし
◆今臨時大会は、まさに新しい組織・運動をつくり、まさに新しい歴史をつくるに相応しい大会として、JR東海労の歴史に刻まれることになる

と確信します。産みの苦しみを全体で我がものとしましょう。JR東海労は少数派ではあるけれども、少数派ではありませぬ。限りなく多数派の可能性を秘めています。更なる前進のためにがんばりましょう。

東海労が対立しているところを描き出し、私たちの運動と組織を破壊することに躍起になっていきます。私たちはこのような組織破壊攻撃に怯むことなく、JR総連と共に組織破壊攻撃に抗していかなくてはなりません。

を踏み出しました。東海の地に労働運動の灯を消すことなく赤々と燃やし続けるために、JS労の仲間と連帯しJR東海労の未来を切り拓こうではありませんか。そして、JR東海労運動の前進を勝ち取るうではありませんか。

東海の地に労働運動の灯を燃やし続けよう！

本橋書記長総括答弁



働者の声を生で聞いたJR東海労組合員が「何とかしたい」と思ったことに間違いありません。プロパー社員との関係づくりは直ぐにできたわけではありません。これまで出向に出された先輩・仲間が奮闘され、JS労結成に結実したということ

ただきありがとうございます。早い時期にJR東海労連を結成することも確認してお礼を申し上げます。関西新幹線サービック（サービック）はJR東海の子会社です。私は、サービックに出向して2年半が経過しました。出向して感じたのは、賃金をはじめとする労働条件

も改善されるのであれば、それは同時に社員の皆さんの改善にも繋がるわけです。そのためには、どうするかということ、それが問われました。その結論が新労組の結成でした。しかし、新組合結成といっても、そのためには数多くの障壁がありました。それは、組織の形式、組合規約の作成、規約に基づく意思決定機関の組成、予算の編成などのプロセスを履践する必要のあること、あるいは組合規約の作成などです。そのため労組法の学習なども行ってきました。そして、JR東海労との二重加盟が可能なかについても、大阪府労働者センターにも何度も足を運び、一つひとつ明確にしてきました。その結果、二重加盟は法的には何も問題がないということが分かりました。このような経過を踏まえ、8月18日に新労組を

今臨時大会は、JS労の仲間と共に闘いをつくり出していく第一歩を踏み出した記念すべき大会であると改めて確認しようではありませんか。関西新幹線サービックで働く労働者が、劣悪な労働条件下で働かざるを得ない姿を見て、また労働

が、JR総連の旗の下で共に闘っていくために、JR東海労連の結成について提起しました。2024年の早い段階での結

JR東海労とJS労組の組合員がJS労に期待をし、加入しているのではないですか。更に『民主化闘争情報』1037号では、JR総連とJR

同じ作業をして、なぜここまで格差が生まれるのか。社員は毎年昇給していくのに対して、契約社員の基本給はある時点で頭打ちになるのです。私はこのような現実を知り、契約社員やパート社員という弱い人の立場に立たなければならぬと強く感じました。弱い人たちの労働条件が少して

件との改善と合わせて、サービック本社に対して労働協約の締結を求めています。フェイスブックを活用した新労組の宣伝をしています。それらは、見る側が意思しないとなかなか広まりません。やっぱり、職場で誰の目にも留まる掲示板が組織化の要をなすと思います。従って、労働協約締結の闘いは、労働条件改善の闘いと並行して、当面の闘いの柱になります。しかし、サービックは、労働協約を易々と結んでいくわけにはいきません。それでは、仮に結んだとしても、掲示板を便宜供与して、そのようなことなどを含めて、これからのどう闘っていくことができるのか、どう闘っていく必要があるのか議論をしながら進めていきます。更なる組織拡大を目指して奮闘する決意を述べて、新年のご挨拶とします。

JS労と共に団結して闘うぞ！
JR東海労名古屋地方本部

祝 JRサービック労働組合結成
JR東海労の未来を共に創ろう！
JR東海労働組合 新幹線地方本部

JS労と共に闘う仲間たちと連帯し 東海の地に労働運動の灯を熱く熱く燃やし続けよう！！

JR東海労静岡地方本部
JR東海労連運動を發展させよう！
JS労と共に闘おう！東京運輸所分会
東京地区分会はJS労と共に連帯して闘います！ 東京地区分会

JR東海労の未来を切り拓く為
JS労と連帯して闘うぞ！
JR東海労働組合東京車両所分会

東海の地に労働運動の炎を燃やし続けるために JS労と連帯して闘おう！！
大阪車両所分会・大阪運輸所分会・関西地区分会

JS労としてJR総連の仲間と共に、職場の労働者・組合員のための労働運動を展開しよう！
新幹線関西地方本部

全地本・各分会から
寄せられた横断幕

サービックの労働条件改善と JS労の組織拡大を目指す！

JS労執行委員長 柳楽 関



新年明けましておめでとうございます。昨年12月14日の第40回臨時大会において、私たちJRサービック労働組合（JS労）と連帯しJR東海労の未来を切り拓く運動方針を確認してい

た。そして、本年の早い時期にJR東海労連を結成することも確認してお礼を申し上げます。関西新幹線サービック（サービック）はJR東海の子会社です。私は、サービックに出向して2年半が経過しました。出向して感じたのは、賃金をはじめとする労働条件

同じ作業をして、なぜここまで格差が生まれるのか。社員は毎年昇給していくのに対して、契約社員の基本給はある時点で頭打ちになるのです。私はこのような現実を知り、契約社員やパート社員という弱い人の立場に立たなければならぬと強く感じました。弱い人たちの労働条件が少して

件との改善と合わせて、サービック本社に対して労働協約の締結を求めています。フェイスブックを活用した新労組の宣伝をしています。それらは、見る側が意思しないとなかなか広まりません。やっぱり、職場で誰の目にも留まる掲示板が組織化の要をなすと思います。従って、労働協約締結の闘いは、労働条件改善の闘いと並行して、当面の闘いの柱になります。しかし、サービックは、労働協約を易々と結んでいくわけにはいきません。それでは、仮に結んだとしても、掲示板を便宜供与して、そのようなことなどを含めて、これからのどう闘っていくことができるのか、どう闘っていく必要があるのか議論をしながら進めていきます。更なる組織拡大を目指して奮闘する決意を述べて、新年のご挨拶とします。



鉄道ファミリーは
組合と共に歩み
皆様をしっかりとサポートします

迎春

今年もよろしく
お願いします

JR総連・各単組賛助団体
(株)鉄道ファミリー

〒141-0031 東京都品川区西五反田3-2-13
電話 JR 058-4114・5 NTT 03-3490-3862

先頭で闘う仲間からの

新年の決意表明

「年休権」を取り戻そう！

新幹線地本 今城 敬一



明けましておめでとう
ございます。

年休裁判は昨年11月27日、東京高裁で結審し、2月28日に判決を迎えます。この6年間、当初年休裁判を闘うにあたって、原告になることに不安がありました。第一陣の西村さんを一人にさせない、原告が多い方がよいということで、分会三役が決意しました。いとも簡単に年休が失効していること、年休が欲しい日に取得できないこと、その原因は何故か、このような現状を会社はどう思っているのか、我々原告だけでなく他労組を含め、多くの乗務員の思うところであり、怒りの声は今も上がっています。東京地裁は、恒常的な要員不足を指摘しました。しかし、大阪地裁は

要員不足ではないなどと不当判決でした。今でも東京も大阪も、年休が失効しています。裁判官の違いによって全く違う判決が出ることに怒りを感じます。大阪地裁は、労働者の権利である年休権

を全く無視した会社に沿う判決です。年休裁判は、一企業だけのことではなく、労働者全体の年休権を守る闘いです。年休裁判に勝利し、JR東海労は組織、個々としても更に進化して、多くの労働者たちと連携し、組織強化・拡大に向け奮闘しよう。

「10・29集会」大成功！

静岡地本 木下 孝尚



昨年JR東海労主催の「袴田巖さんの早期完全無罪を勝ち取る10・29集会」が、袴田さん在住の浜松市・市民協働センターで開催されました。10月27日に清水こがね味噌事件(袴田事件)の再審公判が始まり、2日後の集会はマスコミの注目を集めました。参加者約90名を集め成功裡に終わりました。

この間、東京高裁の再審決定以降、組合員とOBは「浜松 袴田巖さんを救う市民の会」(以下市民の会)の活動に参加してきました。長年市民の会で活動してきたOBの渥美さんと私は、市民の会に参加していたことから集会への協力をいただきました。袴田さんは、無実の罪で死刑が決定されました。48年間の獄中の日々を思いを馳せれば、その苦しみは想像を絶するものです。JR東海労は結成以来32年間、解雇者3名を含めた会社の弾圧に抗し闘ってきました。諦めず粘り強く権力者と闘っている袴田さんや支援する会の人たちとは、JR東海労の闘いと共通します。

集会をつくる過程で、足を使い行動し、議論し、共に闘うことで信頼が生まれ、団結が作り出されました。戦前と言われ

年休裁判を勝利するぞ！

新幹線関西地本 大谷川 公明



大阪年休裁判原告の大谷川です。昨年7月6日の地裁判決では、完膚なきまでの敗訴でした。会社の主張を全て認めた大阪地裁には、怒りを超え

る現在、冤罪撲滅と人権を守るために、労働組合と市民団体との連携をつくり出した意義は大きいといえます。12月6日に控訴審が始まりました。東京裁判の判決2月28日の翌日には結審となります。短期間ですが、悔いのない闘いをやり切りたいと思います。ご支援をよろしくお願ひします。

業務改革反対の闘いを強化する！

名古屋地本 御辺 尚久



新年明けましておめでとうございます。

一昨年10月、会社は業務改革をプレス発表しました。そして関連会社でもJR東海グループビジョン2032が打ち出され、同時に効率化が進められてきました。これにより現場ではCMC社員が担当していた車内点検・車内清掃などの業務を

乗務員が担当し、大幅に仕事量が増大しました。名古屋地本は静岡地本と合同会議を開催しました。在来線同士の意見交換を行い、問題点の情報化、申の提出を行ってききました。時間僅少での車内点検・車内清掃は、労働者の恐れがあると指摘してきた中、危惧していた労災が発生しました。安全を脅かし更なる労働強化に繋がる業務改革に反対し、他労組組合員に訴えかけ、職場からの運動を押し進めていきます。加藤副委員長が病気療養中に不当にも出向発令

されました。CMCとの団体交渉を開催してきました。別件でCMCに出向している組合員から、職場環境改善要求を申し入れました。出向組合員はプロパー社員からの声を聞き取り要求に組み入

「空白12裁判」新たに提訴！

新幹線関西地本 山本 圭一



明けましておめでとうございます。

大阪運輸所分会は昨年10月26日、空白勤務指定により生じた、未払い賃金を求めて大阪地裁に提訴しました。「空白12裁判」として、対象組合員全員の12名による集団提訴です。この闘いは、2021年5月24日、下茂さん、西さん、前田さんの3名が原告となり立ち上げた空白勤務指定反対裁判(空白裁判)と連帯する闘いです。JR東海の乗務員は変形労働時間制を採用しています。しかし、予備月に空白勤務指定されたことにより、変形労働時間制の要件を満たさず、1日8時間の法定時間を超えるものに対しては、超過勤務手当として支払われなければなりません。

れ、団交委員として会社と対峙してきました。団交内容を自ら現場でプロパー社員に展開し、JR東海労運動を広げてきています。職場からの運動を基礎に今年も闘っていきます。具体的闘いとして、当時の金子社長に未払い賃金の内容証明(未払い賃金等請求通知書)で請求しました。しかし、社長自らの回答でなく、現場管理者が「就業規則、賃金規程からも何の問題もない」と、口頭で全く不誠実な回答で納得できないとして、労基署へ未払い賃金の支払いを求めて申告しました。申告に基づき、労基署が会社に調査に入りましたが、労基署の回答は全て会社主張だけを採用するというものでした。私たちの主張である、予備月と出勤予備は性質が違ふこと、更に、出勤予備でも出勤時刻、退出時刻は決まっているので、前月25日までは具体的な始業時刻を発表しなければならぬということには目も向けません。労基署の闘いには限界があると、裁判を立ち上げました。前途多難ではありますが、今後、分会の闘いの柱として闘いを展開していきます。